



くれ

1021 号
2026 年 1 月 20 日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行

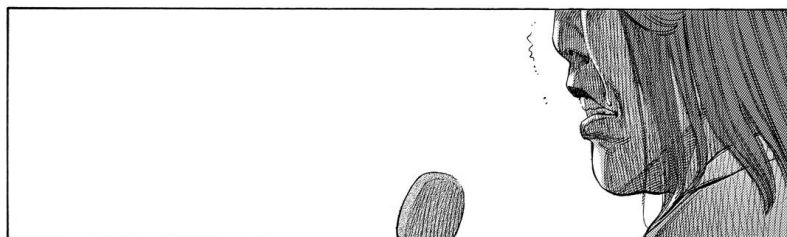


←中国地本HPへ
PC・スマホ等からこの
情報が閲覧可！



メールはこちら→

遣る瀬無い気持ち



ブラックジャックによろしく 佐藤秀峰

呉郵便局の問題点 改善か改悪か放置か

呉局では、以前から問題提起しているように、改善しなければいけないことが非常に多くあります。

まず一つ目は、時間前着手と休憩時間内着手で、区画再編や減配置等で定時では終われない状況にあるのが一番の原因です。不適正点呼がなぜ起こったのか会社は理解

しているのでしょうか？やるが多すぎて時間がないというのが現場の声です。ちなみに休憩時間は殆ど取れていないのが現状です。会社は把握できているのでしょうか？

何とか定時で終わらせたいという思いからの行動でしょうが、会社の思いつぼです。時間外に

着手することで支社や本社にこの物数を時間内に終わらせた凄腕の局だとアピールしたいのか、会社として時間外の着手を容認しているようにしか見えません。その証拠に、一切注意をしていないどころか、見て見ぬふりをしているのと指摘もあります。やるべきことをやる！そんな標語があつたと思いますけどなんですかね？

二つ目は、会社の社員に対するコミュニケーション不足です。病気や労災等で突然休まれる方がいらつしやいます。それ自体は悪いことではありませんが、突然の呼び出

しで休みを返上して出勤した社員や勤務を変更して出勤となった社員に対して手当がないことは非常に腹立たしいことではあります。それ以上に会社として労いの言葉一つ無いのはどうかと思います。

班員同士はお互い様なので復帰したときに感謝の気持ちを伝える位でよいと思いますが、会社として「出勤するのが当たり前」だと思わないで下さい。予定をキャンセルしたり、睡眠時間が少ないのに無理して出勤している社員も実際にいるのですから、しっかりコミ

ユニケーションをとって欲しいものです。

最後に営業の強要について。先述の通り配達業務が逼迫している中、声かけや販売の強要は社員の安全面を一切考慮していません。どうしてもやりた

いのであれば、まず物的にも精神的にも余裕のある区画設定や人員配置にするべきです。

実は、営業が得意だという社員がいるようです。しかし、時間にゆとりがなく声を掛ける暇すらないと嘆いていました。班による時間的余裕の差もあるかも知れない中、班対抗で販売個数を競わせるやり方は、やる気のあ

今後の予定

- 1月24日(土) 13:00～
第14回地方委員会
広島オフィスセンター
- 1月24日(土) 15:30～
地本新年会
博多ぶあいそ離

る社員の「やる気」を削ぐ愚行だと言わざるを得ません。
問題点を改善できる優秀な呉郵便局になつて欲しいと願います。

メールアドレスは piwu-kure@wind.ocn.ne.jp 送信者の秘密は守ります！ご意見感想もお気軽に